NCIEC

ろう通訳カリキュラム

第４編：ろう通訳の倫理の考察及び課題

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第4編：ろう通訳の倫理の考察及び課題

各章のタイトルと順序

- 倫理の基本–まず自分を知る
- NAD—RIDの専門職行動規範の歴史
- ろう通訳者と倫理
- アライ（同胞、同調者）としてのろう通訳者

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

主要課題

- あなたの核となる価値観、道徳観、信条とは？
- プロとしての行動・態度に潜在的な影響を及ぼしている可能性のある偏見を確認し、それらを減らす方法は？
- 一般的に倫理的な意思決定はどのように行われるか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

専門職の行動規範

- メタ倫理の原則
- プロ（専門職）の特徴の確認
- NAD—RID倫理綱領にある価値観
- 倫理的意思決定の9つのステップ
- ろう通訳者の仕事に影響しうる個人の性格

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

道徳発達の6段階

- 前慣習的水準
  - ステージ1：罰と服従志向
  - ステージ2：道徳主義的相対主義
- 慣習的水準
  - ステージ3：良い子志向（対人的同調）
  - ステージ4：法と秩序
- 後慣習的水準
  - ステージ5：社会契約的遵法
  - ステージ6：普遍的な倫理基準

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

事例1

- あるろう通訳者が地元の健康フェアでのHIV検査の場所で仕事をしている。列に並んでいたあるろうの参加者に「針は痛いのか」と聞かれる。通訳者は以前、意見を言ったことで注意を受けたことがあったため、こう答える。「NAD-RID倫理綱領により答えることはできません。」

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

事例2

- この時、ろう通訳者は、その参加者に微笑みかけて言う。「ご質問があるなら喜んで通訳をしますよ。HIV検査の責任者を探しに行きましょう。過去にHIV検査を受けたことがあり、痛くなかったですが他の人は痛いかもしれません。針に強いかどうかは人それぞれです。いらっしゃい、一緒に探しに行きましょう。」

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

倫理と健全な倫理

- 道徳上の原理または価値観の組み合わせ
- 道徳的価値観の理論または構造（例：現在の物質主義的な倫理）
- 個人または集団を統制する行動原理（例：専門的倫理）
- 手本となる原理

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

概念における倫理

- 目的
- 価値観と道徳観
- 倫理上の行動
- 倫理に関する理論
- メタ理論の原理
- 綱領の解釈
- 倫理的決定
- クリティカル・シンキング（批判的思考）

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

個人の立場：倫理的判断に与える影響

- 人種・民族
- ジェンダー
- 年齢
- 宗教
- 職業
- 社会経済的立場
- 性的指向

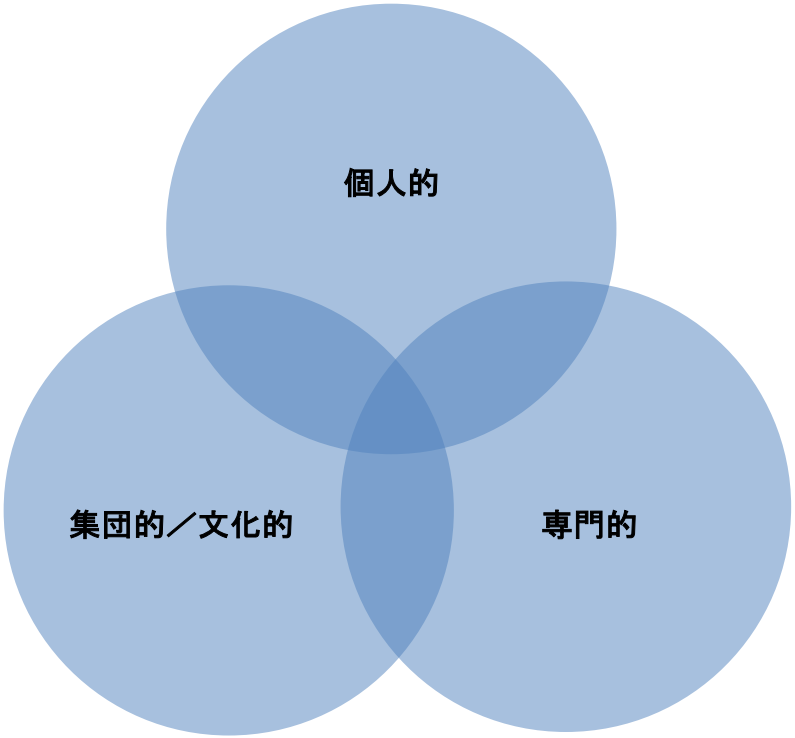
@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

一般的な倫理領域

- 個人的
- 集団的/文化的
- 専門的



@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

倫理とろう通訳の実践

- 倫理綱領（様々な職業に適用できる）
- 専門職行動規範や倫理綱領の目的
- 倫理的な意思決定
- ろう通訳者が特に考慮するべきことや課題

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

健全な倫理：「正しいvs正しい」というジレンマ

- 真実か忠実か
- 自己か集団か
- 短期か長期か
- 公正か記憶か

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

健全な倫理：正しいvs間違いのジレンマ

- 法的には問題ない？
- 専門職行動規範違反か？
- これが新聞の一面に載ったらどう思うか？
- あなたの母親（またはメンター、ロールモデル）などが知ったらどう思うか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

事例1（短期vs長期）

- 知的障害のある学生の通訳を定期的に担当している。あなたとその学生は口論してしまい、その一件について指導チームと話し合うことになる。その学生が理解できるのはあなた一人しかいないということで、その行動について報告する一方で、その学生のために通訳してほしいと頼まれる。

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

事例2（個人vsコミュニティ）

あなたは、SSP（盲ろう支援サービス提供職）の志願者がロビーで座って待機しているのを見る。盲ろうの面接官は、受付のそばで雑談している。あなたはそこへ歩いていく途中、一人の志願者が別の志願者に手話で話すのを見る。「この仕事を志望する理由は、奨学金を返したい、ただそれだけなんだ。この仕事は楽だし、盲ろう者は聞こえないし見えないから、何してもわからないからね。」

あなたと面接官は面接室に入る。先ほどの志願者が入室し、面接が始まる。面接でその志願者は言う。「志望理由は、盲ろう者の手助けをしたいからです。できる限り私は最良のサービス提供者になりたいです。」

面接終了後、あなたはロビーで見たことを面接官に打ち明けますか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第1章：倫理の基本ーまず自分を知る

事例の感想

- 事例2のビデオを見た後、指導講師選定の感想ビデオを見る。
- デマンドコントロール・スキーマを参考に
  - ビデオを見た学習者はどのような課題に気づいたか、これらの課題はどのように確認できるか
  - 学習者はどのようなコントロールに気づいたか
  - もし自分が同じような状況にいた場合デマンドコントロール・スキーマをどう活用できるか

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

主要課題

- RIDとNADが共同して専門職行動規範を作るという結果となった歴史的問題は何か？
- RIDとNADのコラボレーションはろう、聴通訳者の役割や機能にどう影響したか？
- 方針・規則などとガイドラインの違いは何か？
- ろう通訳者にとって、通訳や関連分野（医療、メンタルヘルス、法廷通訳など）の最新情報やトレンドを把握していることは重要である。それはなぜか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

歴史的背景

- RIDの倫理綱領とNADの倫理綱領
- NAD-RID全米通訳委員会とNAD-RID専門職行動規範の合同作成
- RID会長報告（2008年）：NAD-RIDの関係の再確認

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

RID苦情処理

- RIDの倫理実践制度（EPS）
- NAD–RID専門職行動規範（CPC）
- EPS執行手続き

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

主な要素：NAD-RID専門職行動規範

- セクション－名称、範囲、理念、行動規範、原則
- 中心的な理念－*害を与えてはならない*
- 構造－原則、行動規範、模範的行動

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 1.0 ー 機密保持

通訳者は機密情報の扱いの基準を遵守すること

- 行動規範：通訳者は、コミュニケーションの言語、文化両面の支援者として信頼される存在であることを保つ。機密保持は、通訳利用者にとって非常に重要であり、すべての関係者を守るという意味からも肝要である。

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 1.0 – 機密保持（続）

- 模範行動
  - それぞれの通訳場面（初等、中等、高等教育、または司法、医療、精神保健など）には、秘密情報の規範・基準がある。
  - 合理的な通訳基準に従って、専門職の通訳者は機密保持に関する一般的な規定および様々な機密レベルの適用について知識を有することが期待される。
  - 秘密保持の例外となるのは、例えば、連邦法や州法で義務付けられている虐待や自殺の恐れについての報告、または証人喚問に応じる場合などである。

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 2.0 ー 専門職としてのスキルと知識

通訳者は、それぞれの通訳場面に必要な専門的スキルと知識を有する

- 行動規範：通訳者は、常に言語使用の変化、通訳という職業に関するトレンド、アメリカのろうコミュニティに関する最新情報などを把握していることが望ましい。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 2.0 ― 専門職としてのスキルと知識

- 行動規範（続）
  - 通訳者は、通訳依頼を受けたときに、その現場が要求するスキル、コミュニケーションモード、現場の状態、依頼者のニーズなどを考慮した上で、実際に依頼を引き受けるかどうかを判断する
  - 通訳者はアメリカのろう文化およびろう関係の知識やリソースを有するべきである

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 2.0 ー 専門職としてのスキルと知識（続）

- 模範的行動
  - 人種、肌の色、出生地、ジェンダー、宗教、年齢、障害、性的指向、その他の要因に関係なくサービスを提供すること
  - 通訳利用者のニーズ、および任務前と任務中の通訳状況を把握し、必要に応じて調整を行うこと
  - 話されている内容と趣旨を伝え、通訳利用者にとって一番理解しやすい言語を使い、誤りを慎重に迅速に正すことで、正確に内容を伝えること

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 2.0 ー 専門職としてのスキルと知識

- 模範的行動（続）
  - メッセージを完全に伝える必要がある場面、あるいは何らかの理由でコミュニケーションに支障がある場面（認知障害、外国手話、言語力に問題がある、または正式な指示や言語がないなど）では、サポート（有資格ろう通訳、通訳チームメンバー、言語ファシリテーターなど）を要請すること
  - 忠告、助言、個人的な意見は控えること
  - 利用者に地域で得られる通訳サービスやその他のサービスの情報を提供する場合は慎重に判断して行うこと

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 3.0 ― 態度・振る舞い

通訳者はそれぞれの通訳現場の状況ふさわしい振る舞いをする

- 行動規範：通訳者は、現場での振る舞い、外見が適切であることが望ましい。通訳者としての役割に反する結果を招いたり、対立する利害関係に直接的または間接的に関わることは避ける。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 3.0 ― 態度・振る舞い

- 模範的行動
  - 効果的な通訳に必要な配置やその他の調整については、通訳現場に居る適切な人と相談する。
  - 身体的、感情的、精神的な理由で仕事ができない場合は、通訳業務を断るか辞退すること
  - 異なる分野に関する場面（例えば教育またはメンタルヘルスのチーム）などにいて、二つの異なる役割を同時に引き受けることは避けるべきである。

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 3.0 ― 態度・振る舞い

- 模範的行動（続）
  - 派遣先の既定の行動規範に従うこと。専門職行動規範と矛盾する場合担当者に知らせること。正当な理由による解決を積極的に目指すこと。
  - 不必要に目立つ行動は避け、服装にも気をつけること。
  - 任務前や本番中には思考力に影響を及ぼす薬物などの接種は避けること。

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 3.0 ― 態度・振る舞い

- 模範的行動（続）
  - 実際に起きたあるいは目にした利害対立はいずれも関係者に明らかにすること
  - 通訳サービスの効果性を損なうまたは妨げとなりうる利害対立に直接的または間接的に関わることは避けること
  - 通訳の中で得た機密情報を利用して個人的、金銭的、あるいは職業上の利益を得てはならない。
  - 通訳の中で得た機密情報を、個人的な知り合い、あるいは仕事上の関係者の利益になるように利用してはならない。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 4.0 ー 通訳利用者への敬意

通訳者は利用者に対して敬意を払う

- 行動規範：通訳者の資格の有無、手配可能か否か、その他現場の状況などを考慮しなければならない事実はあるが、通訳者の選定および通訳上の調整の際、できる限り通訳利用者の希望を尊重する。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 4.0 ― 通訳利用者への敬意

- 模範的行動
  - 通訳利用者の言語使用に関する希望やニーズに配慮し、それに応じてメッセージを表出する（例えば、ASLに通訳するか、手指英語に近い形で通訳するかなど）。
  - 常にプロフェッショナルな態度で利用者に接すること
  - 任務前に通訳利用者の同意を得ること
  - 通訳利用者のコミュニケーションへのアクセスと対等性を促進し、談話への完全な参加と自立をサポートすること

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 5.0 ー 同僚への敬意

通訳者は、他の通訳者、インターン、通訳課程を学ぶ受講生・学生に敬意を払う

- 行動規範：通訳者は、効果的な通訳サービスの提供のために同僚と協働するのが望ましい。また、それぞれの通訳者の同僚との関わり方は、手話通訳業界に影響をおよぼすことも理解する。

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 5.0 ー 同僚への敬意

- 模範的行動
  - 同僚、インターン、受講生に対して常に敬意を払うこと
  - 任務前に通訳チームで打ち合わせを行い、ロジスティックス関連を確認し、意見を求められた時はプロとして丁寧に対応し、サポート通訳を担当する場合は通訳内容の正確性をしっかりとモニターする等を行い、チームとして協働すること。

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 5.0 ー 同僚への敬意

- 模範的行動（続）
  - 同僚の倫理綱領または専門職行動規範の違反に気付いた場合はプライベートでその同僚と会い、一般的な問題解決方法を試みる。しかし、このような試みがうまくいかず、あるいは違反が大きく常習である場合にのみ、公式に苦情として提起する。
  - 情報を共有し、適切な時にメンター役を担うことで、同僚を助け励ます。
  - インターンを通訳任務に連れて行く場合は事前に同僚の同意を得る必要がある。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 6.0 ー 事業としての実践

通訳者は倫理的に事業実践を続けていく

- 行動規範：通訳者は、働く形態がフリーランスであれ、団体・エージェントなどからの派遣であれ、専門職としてふさわしい仕事をすることが求められる。プロフェッショナルの通訳者は、資格と業績に見合った報酬を得る。また、効果的なサービス提供のため、現場の労働環境を整える権利を有する。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 6.0 ー 事業としての実践

- 模範的行動
  - 任務に間に合わない、または十分に任務ができない場合は、直ちに担当者に知らせること
  - 現場の状況が安全でない、不衛生、または通訳ができない環境の場合、任務の辞退、中断という余地も設けること
  - 任務前、中、後にハラスメントや強制をしないこと

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 6.0 ー 事業としての実践

- 模範的行動（続）
  - 無料奉仕は公平にかつ常識的な範囲で行うこと
  - 通訳サービスの成果に応じて公平かつ合理的な料金を請求し、プロとして常識的な手段での支払いを決めること

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 7.0 ー 専門性の向上
通訳者は常に専門性を高めること

- 行動規範：通訳者は常に知識やスキルの向上を行うことで、通訳力やその専門性の水準を高め保持すること

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第2章：NAD-RID専門職行動規範の歴史

原則 7.0 ― 専門性の向上

- 模範的行動
  - 以下の活動を通して知識を深め通訳力を向上すること
    - 大学教育を受ける
    - ワークショップ、会議に参加する
    - メンターの指導やスーパービジョンの機会を求める
    - コミュニティ行事に参加する
    - 独自に勉強する
  - ろう通訳の職業に関係する法律、政治、規定、規則について最新の情報を常に知っていること

第3章:ろう通訳者の倫理

主要課題

- それぞれの事例において、判断の根拠となる倫理原則は何か？
- ろう通訳者と聴通訳者の倫理的意思決定のプロセスに違いはあるか？
- ろう通訳者は、自分自身が持つ価値観、バイアス、基準などと、職業上行う倫理的意思決定を、区別するにはどうすればよいか？
- ろう通訳だから倫理上特に考慮することや直面する課題などはあるか？

第3章:ろう通訳者の倫理

事例検討の分析

- 何が起こっているのか？
- なぜ起こっているのか？
- 選択肢は何か？
- どの選択肢が一番良いか、それはなぜか？
- 選択したことをどう実行するか？
- どのような成果が考えられるか？
- どんな結果がありうるか？それは誰にとってか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第3章:ろう通訳者の倫理

事例検討

- ろう通訳にある倫理のジレンマ
  - この状況に置かれた場合、あなたならどうするか？
  - 意思決定にあたりどのような点を考慮するか？
  - NAD–RID専門職行動規範に照らして自分の決定が正しいことを説明できるか？
  - 似たような場面だが、違った行動をとる（判断をする）ケースはあり得るか？それはなぜか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第3章:ろう通訳者の倫理

事例1

- （ろう通訳者である）あなたと聴通訳者は、あるろう者がこれから受ける大手術について医者から説明を受ける場面の通訳を担当した。二週間後、あなたは家族と一緒に参加していたろうコミュニティのイベントで、先日通訳したこのろう男性とばったり出会った。あなたは仕事上専門職として取るべき態度を貫こうとしたが、そのろう者はしつこくあなたと話したがった。できるだけ失礼のないように彼を遠ざけようとしたが、しばらくすると妻を連れてやってきた。彼は先日の医師と話した内容を妻に説明してほしいと言う。あなたは内容を正確に覚えていないと言って断るが、彼は話すのを許可するので、どうしても妻に話して欲しいと食い下がる。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第3章:ろう通訳者の倫理

事例2

- （ろう通訳者である）あなたと聴通訳者は、最近中国から米国に移住してきた、ASLも英語もできないろう者がメンタルヘルスカウンセラー（聴者）と面談する場面の通訳を担当した。そのカウンセラーは、特定の精神疾患が疑われるので、病院でスクリーニング検査を受けてみることを患者に勧めた。あなた（ろう通訳者）は地元のろう者専門のメンタルヘルスセンターがこのカウンセラーと患者にとって一番良い情報源になるのではないかと考える。

第3章:ろう通訳者の倫理

事例3

- 聴のNIC米国通訳認定制度の上級資格を有し、15年のキャリアを持つベテラン通訳者のジョンから連絡を受ける。(ろう通訳者である)あなたと一緒に通訳現場を担当しないかという誘いである。ジョンは地元の職業リハビリテーション事務局から通訳依頼を受けていた。内容は、職業リハビリテーションカウンセラー(聴者)と、16歳のろう者でASLを母語とするバイリンガルのメイヴとの面談の通訳。彼女は最近ほとんど視力を失っている。この面談でこのカウンセラーは、就労のための視覚の基準、職業訓練、雇用などについて説明することになっている。あなたは盲ろうの通訳の経験もなく、盲ろうコミュニティにも馴染みがなく、彼らのコミュニケーションニーズついても詳しくない。あなたの地元には他にろう通訳者がいない。

NCIEC

第4章：アライとしてのろう通訳者

主要課題

- アライ（理解しあい、協働できる人）、アドボケイト（理解し、擁護してくれる人）、ろう通訳者それぞれの役割の相違点、共通点は何か？
- ろう通訳者は、通訳者としての役割から一線を越えることなく、利用可能な通訳やコミュニティの資源に関する情報をどのように正しく伝えられるか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第4章：アライとしてのろう通訳者

- 定義
  - アライ
  - アドボケイド
- 役割と共通点
  - アライ、アドボケイト、ろう通訳の役割と責任で、相違点、共通点は何か？
  - アライとろう通訳の役割が共通する面はあるか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

NCIEC

第4章：アライとしてのろう通訳者

グループ討論

- ろう通訳者にとって、プロとしての立場、公平性、誠実さを守り続けることが重要なのはなぜか？

通訳前、通訳中、通訳後のろう通訳者の倫理的意思決定に影響を及ぼす可能性のある教育的、認知的、生理学的、社会言語学的要素およびその他のコミュニケーションニーズを評価するための方略にはどのようなことが挙げられるか。

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers

第4章：アライとしてのろう通訳者

グループ討論（続）

- ろう通訳者は、通訳者としての役割から一線を越えることなく、利用可能な通訳やコミュニティのサービスに関する情報を提供したり、そのようなサービスにつないだりするにはどのようにしたらよいだろうか？

@ 2014 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers